

平成25年度 事務事業マネジメントシート

事業名	介護支援サポーター事業			会計	款	項目	大	小
				08	03	01	02	02
政策	04	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	介護支援課				
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり	主管課長	早川 仁				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	要支援、要介護認定を受けていない65歳以上の高齢者	意図	高齢者の社会参加を通じた介護予防の推進
事業内容	高齢者の社会参加を通じた介護予防の取組みを目的として、介護支援サポーターとして登録を行った65歳以上の方が市内の介護施設（特別養護老人ホームやデイサービスセンターなど）で、サポーター活動（見守り、話し相手、レクリエーションの補助、配膳など）を行った場合に、その活動実績に応じた活動評価ポイントを転換交付金、ながぼんポイントに交換できる制度です。			
事業開始から現在までの状況変化	平成25年4月1日から高齢者の積極的な社会参加を通じた介護予防の取組みを推進することを目的に事業がスタートした。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	介護支援サポーター登録者数			207	人
②	活動者数			120	人	↑↑↑	活動実績のある方
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 平成25年4月1日からスタートした介護支援サポーター事業は、10回の制度説明会と8回の介護支援サポーター養成講座を実施した。今年度の介護支援サポーターの登録者は207名となった。
事務事業のコスト		平成23年度	平成24年度	平成25年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)				8,301,407			
事業費(b)(円)				4,807,907			
うち一般財源							
職員給与費(c)(円)				3,493,500			
人役・職員(人)				0.50			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H25)の改善計画	高齢者がボランティアなどの社会参加活動に参加することは、自らの心身の健康の保持や増進につながるものと考え、事業を開始した。	③取り組みの課題	介護支援サポーターとして登録したが、活動につながらないサポーターのフォローが必要である。
②今年度(H25)に実施した取り組み	介護支援サポーター制度説明会10回、介護支援サポーター養成講座を8回実施した。（サポーター登録者207名）	④今後の改善計画	介護支援サポーターのスキルアップを含めたフォローアップ講座の実施と活動につながらないサポーターへの支援を検討していく。新規のサポーターの登録に向けたPRを進めていく。